


平成22年度
和歌山県立中学校
適性検査Ⅱ
(古佐田丘中学校)

(10:15~11:00)

(注意)

- 1 「はじめ」の合図があるまで、この冊子を開いてはいけません。
- 2 「はじめ」の合図があったら、まず、受検番号を記入しなさい。
- 3 適性検査は、どこから始めてもかまいません。
- 4 解答は、すべてこの冊子の  で囲まれた場所に記入しなさい。
- 5 計算などは、この冊子の余白を使いなさい。
- 6 印刷が悪くてわからないときや筆記用具を落としたときなどは、だまって手を挙げなさい。
- 7 時間内に解答が終わっても、そのまま着席していなさい。
- 8 「やめ」の合図があったら、すぐに解答するのをやめ、冊子の表紙を上にして机の上に置きなさい。

登場する人物



あきらさん



みどりさん

この適性検査には、「あきらさん」と「みどりさん」が登場します。
二人といっしょに、研究1～研究5のいろいろな課題について考えてみよう。

研究1

読書会をしよう

あきらさんとみどりさんは、目と耳の両方の障害をのりこえていたくしゅ・ケラーについて書かれた本をそれぞれ読み、印象に残った場面について話し合っています。 ※印には(注)がある。

著作権等の関係で掲載していません



ぼくは、**A**の場面が印象に残ったよ。



そは、わたしの読んだ本では**B**のところよ。同じ場面なのに表現がちがうね。



ぼくが読んだのは、砂田弘さんという人が書いた伝記で、みどりさんが読んだのは、ヘレン自身が自分のことを書いた伝記だからかな。

課題1

ヘレン・ケラーについて、**A**の文章はヘレン・ケラー以外の人が書いたもので、**B**の文章はヘレン・ケラー自身が書いたものです。この立場のちがいは、どんな表現に表れていますか。説明してみよう。

説明



こうして**A**と**B**の二つの文章を読むことで、一つの文章だけでは気づけなかったこともわかるね。



そうね。あきらさんの読んだ**A**の文章を読むと、**B**の文章で、ヘレンは、なぜ「ことば」ではなく「生きていることば」と表現したのかが、よくわかったよ。

課題2

Bの文章で、ヘレン・ケラーは、なぜ、「生きていることば」と表現したのでしょうか。説明してみよう。

説明

研究2 表示から考えよう

みどりさんとお父さんは、愛知県に旅行したときの写真を整理しています。

写真1 【名古屋城の案内板】



写真2 【高速道路の休けい所ののぼり】



写真1の案内板には外国の言葉が書かれているね。「Nagoya」は読めるけれど、ほかはわからないわ。



お父さん

「Castle」は、英語で「お城」を意味するんだよ。
だから、「Nagoya Castle」は、「名古屋城」をあらわしているんだ。



英語なのね。じゃあ、その下の「나고야성」は、どこの国の文字かしら。



お父さん

これは、ハングルといって、^{かんこく}韓国などで使われている文字だよ。
写真2では、日本語のほかに、英語、中国語、ハングルが使われているね。

課題1

わたしたちの周りのいろいろな表示に、外国の言葉がよく使われるようになった理由を、社会の変化と関連づけて2つ書いてみよう。

理由

理由



わたしたちの周りには、日本語と外国の言葉をいっしょに表示する以外にも、
利用する人のことを考えて工夫くふうされた表示が見られるよね。

課題2

わたしたちの周りにある表示の中で、利用するいろいろな立場の人のことを考えて工夫されたものを2つ書いてみよう。

また、それぞれの表示について、どのような立場の人に対する、どんな工夫なのかを説明してみよう。

工夫された表示

説明

工夫された表示

説明

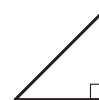
研究3 折った紙から考えよう

みどりさんとあきらさんは、いろいろな形の紙を折って遊んでいます。



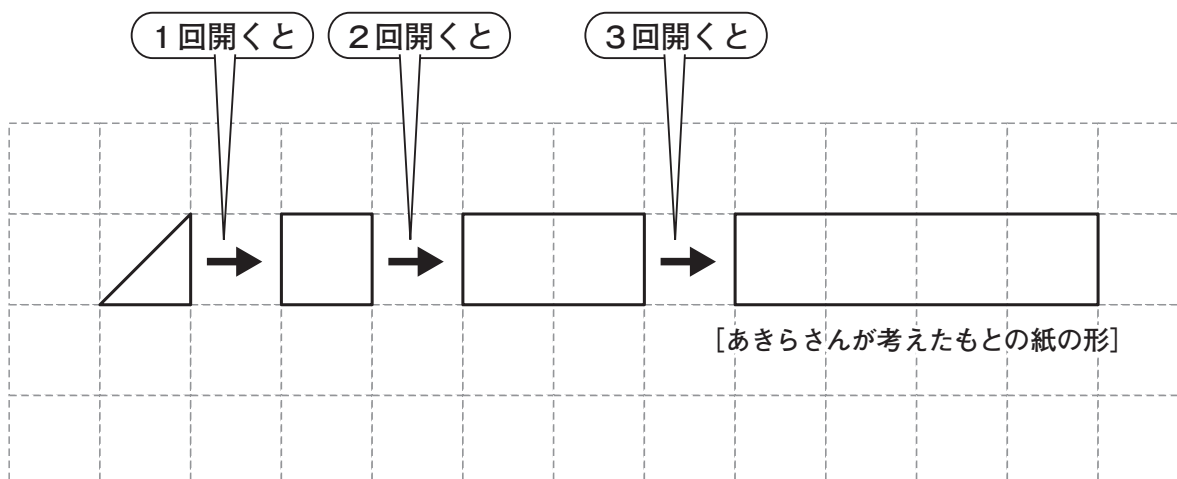
ある形の1枚の紙を3回ともぴったり重なるように折ると、(図1)のような二等辺三角形になったわ。
どんな形の紙を折ったのか、開かなくてもわかるかな。

(図1)



方眼を利用して、(図2)のように考えていくと、もとの紙の形がわかったよ。

(図2) [あきらさんの考え]



あれ、もとの紙の形は、あきらさんの考えた形じゃなかったわよ。

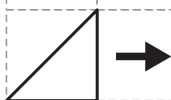
課題

みどりさんは、どのような形の紙を折ったと考えられますか。(図2)のように、方眼を利用して3とおりにかいてみよう。ただし、定規を使わないでかきましょう。

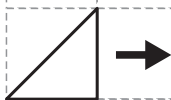
1とおり目



2とおり目



3とおり目



研究4 ふっとうしたお湯から考えよう

みどりさんたちは、科学クラブの活動で理科室に来ています。先生は、ビーカーで水をわかして実験の準備をしています。



底からたくさんのおわが出て
いるよ。ふっとうしているのね。



先生

おもしろい実験をしてみよう
か。このおわを、ペットボトル
に集めてみるよ。

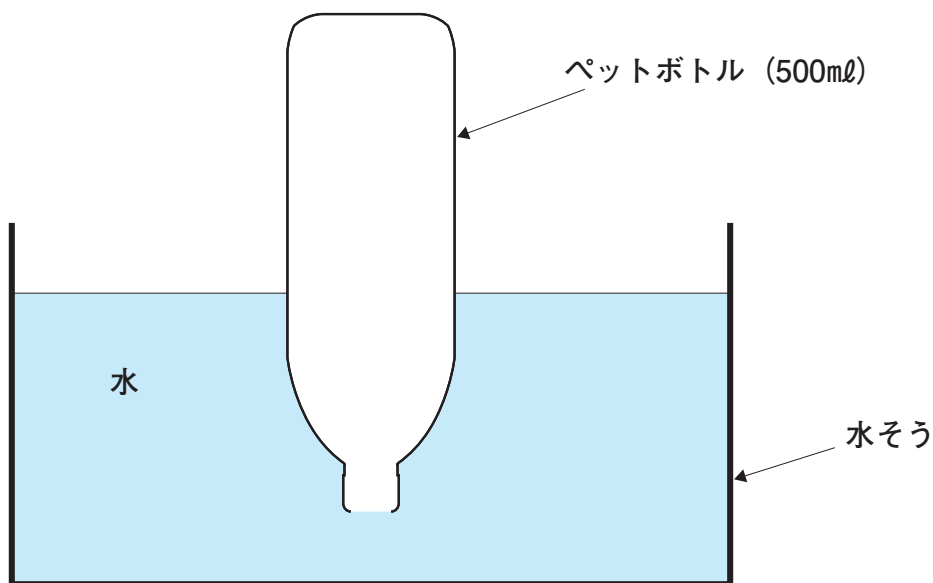
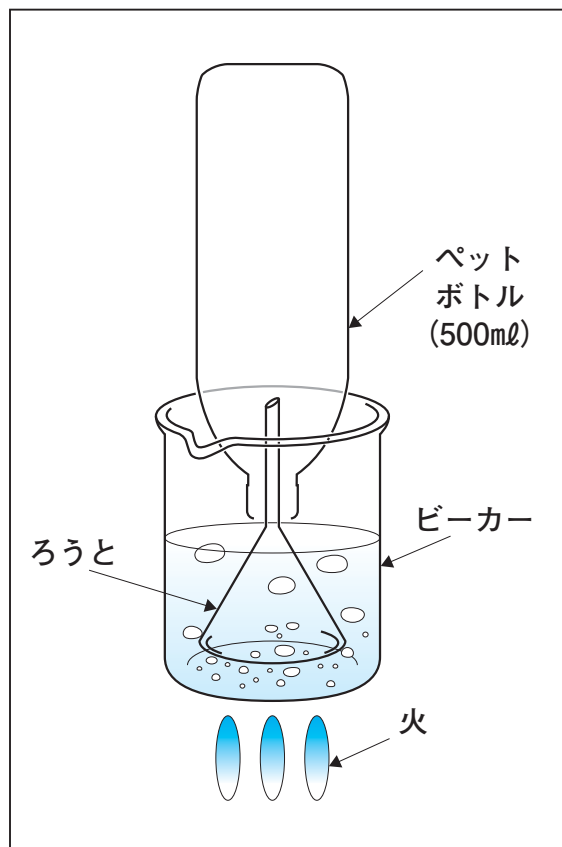
先生は、ビーカーの底にろうとを逆さまにお
き、出てくるおわをペットボトルの中にじゅう
ぶん集めました。



先生

ここに、水の入った水そうが
あるね。このペットボトルを、
口を下にしたまま早く水そう
に入れるよ。

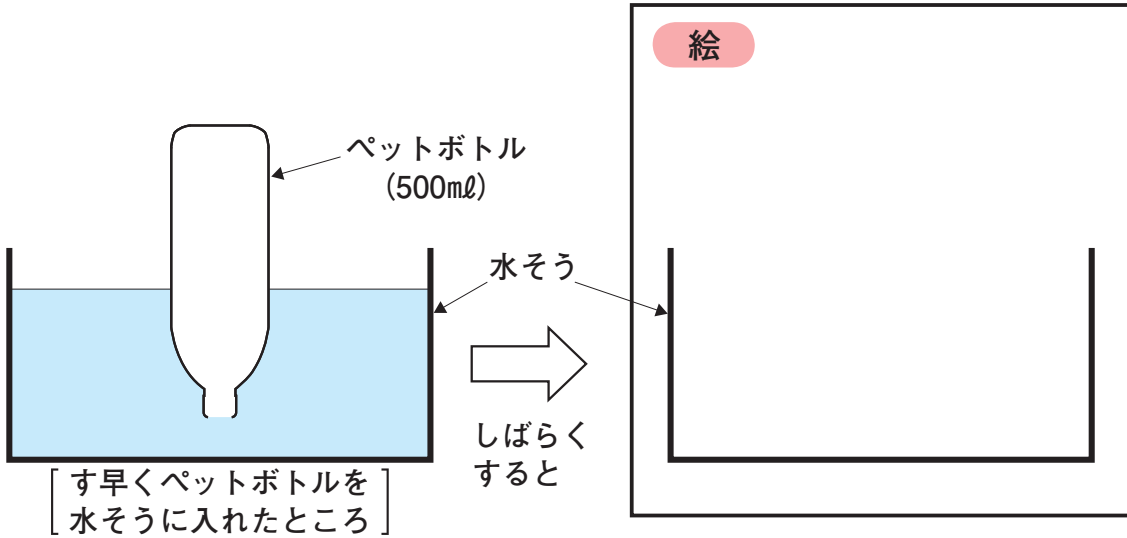
さて、どうなるかな。



[す早くペットボトルを水そうに入れたところ]

課題

ふっとうしたとき出てくるあわを、ペットボトルの中にじゅうぶん集めます。このペットボトルを、口を下にしたまます早く水そうに入れます。しばらくすると、どのようなようすが見られますか。そのときのペットボトルと水そうを絵にかき、なぜそうなるのか文章で説明してみよう。



説明

研究5 本の整理から考えよう

図書委員のみどりさんは、図書室から本を借りてきて学級の本だなに並べました。



本だなの24cmのすき間に、図書室のシリーズの本から何冊か選んで並べたら、ぴったり入ったわ。



本は、「絵本」「歴史」「文学」の3種類のシリーズだね。



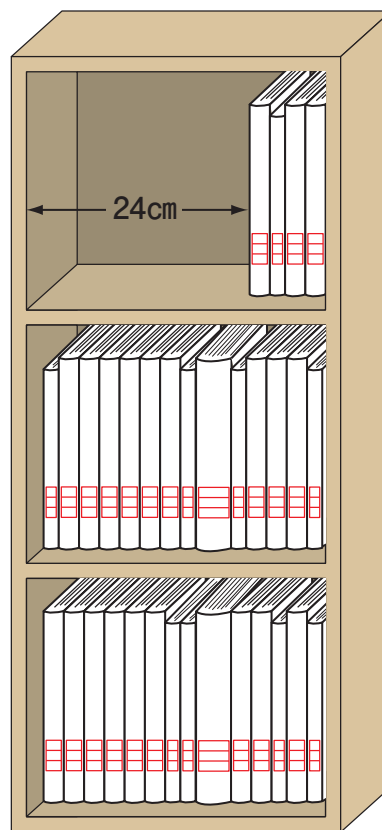
厚さ1.5cm



厚さ2.5cm



厚さ3cm



課題1

本の厚さを、「絵本」が1.5cm、「歴史」が2.5cm、「文学」が3cmとすると、24cmのすき間にそれぞれ何冊ずつ入ったと考えられますか。3とおりの組み合わせを書いてみよう。ただし、どのシリーズの本も1冊は入っているものとします。

1とおり目

絵本 () 冊 歴史 () 冊 文学 () 冊

2とおり目

絵本 () 冊 歴史 () 冊 文学 () 冊

3とおり目

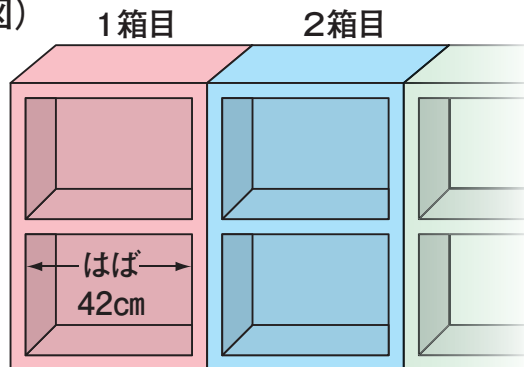
絵本 () 冊 歴史 () 冊 文学 () 冊

図書室には、(図)のような2段になった本箱がいくつか並んだ「おすすめコーナー」があって、月ごとのテーマにあった本をしょうかいしています。

11月は「^{ずかん}図鑑」、12月は「文学」でした。

おすすめコーナー		
月	種類	テーマ
10	絵本	本は友達!
11	図鑑	調べてみよう!
12	文学	想像豊かに!
1	漢字辞典	めざせ、漢字博士!

(図)



図書室にある「図鑑」と「文学」のシリーズの本の数は同じだよ。

このコーナーの本箱に、11月は「図鑑」が全冊すき間なく入ったけれど、12月の「文学」は入りきらずに56冊あまったわ。



1月は、「漢字辞典」を入れるだけ並べるんだね。厚さ7cmの「漢字辞典」は、何冊入るのかな。



本の厚さは、「図鑑」が2cm、「文学」が3cmだから、何冊入るのかわかるよ。



厚さ2cm



厚さ7cm

課題2

このコーナーの本箱に、厚さ7cmの「漢字辞典」は、全部で何冊入るでしょうか。ことばや式などを使ってどのように考えたのか、説明してみよう。ただし、1つの本箱のはばは、42cmです。

説明

漢字辞典 () 冊